

# 血管を守る糖尿病治療とは？

— 残余リスク低下を目指して —

座長

神戸大学大学院医学研究科  
内科学講座循環器内科学分野 教授

平田 健一 先生

演者

自治医科大学内科学講座  
内分泌代謝学部門 教授

石橋 俊 先生

日時

2015年4月25日(土)  
12:50～13:40

会場

大阪国際会議場  
10F 1008 (第4会場)  
大阪市北区中之島5-3-51

# 血管を守る糖尿病治療とは？

～残余リスク低下を目指して～

座長

神戸大学大学院医学研究科  
内科学講座循環器内科学分野 教授

平田 健一 先生

## 【座長のことば】

日本人の約1/3が動脈硬化を基盤とする疾患(心疾患、脳血管疾患)により死亡しています。急性心筋梗塞をはじめとする虚血性心疾患に対する治療は、最近20～30年の間で飛躍的に発展しました。

更なる課題としては、動脈硬化の進展を抑制し、動脈硬化性疾患の発症を阻止することです。スタチン中心のLDL-C管理により心血管イベントの抑制はある程度達成されましたが、残余リスクに対しては多方面からの予防的なアプローチが必要であると考えられます。そのために、動脈硬化性疾患の発症機序を解明し、有効な治療法や予防法を開発することが切に望まれています。

動脈硬化症は、血管内皮細胞障害から始まる慢性炎症性疾患であるという考えが一般的となってきました。更に、糖尿病患者においては糖尿病自体が重要な動脈硬化性疾患の危険因子のひとつであり、包括的な治療が必要となります。

本セミナーでは、石橋俊先生(自治医科大学内科学講座 内分泌代謝学部門 教授)に動脈硬化性疾患予防の観点から血管保護を見据えた糖尿病治療についてご講演頂きます。我々循環器医師による糖尿病診療に役立つセミナーになると期待しております。

演者

自治医科大学内科学講座  
内分泌代謝学部門 教授

石橋 俊 先生

## 【演者抄録】

糖尿病治療の最終的な目標の一つは、健康な人と変わらない寿命の確保である。糖尿病患者の主な死因は心疾患、脳血管疾患及び腎疾患であるが、いずれも細小血管及び大血管障害が起因となっており、血管保護を見据えた糖尿病治療が重要であると考える。特に、動脈硬化を基盤とする大血管疾患は急性発症することが多く、死亡やQOLの急激な悪化といったリスクを伴い、いかに未然に発症を防ぐかが重要な治療戦略となる。

動脈硬化を抑制するためには、まず患者の喫煙、食事、運動などの生活習慣に向き合い、改善していく必要がある。同時に合併する危険因子を管理していくことも非常に重要となる。最も重大な危険因子である脂質異常症は比較的管理しやすい合併症であり、複数の大規模臨床試験結果からスタチンを投与してLDL-Cを低下させることで糖尿病患者の心血管イベントを減少できることが示されている。この様に、脂質管理に対してスタチンは有用ではあるが、スタチンによりLDL-Cの管理目標を達成した場合でもリスクは2～3割しか抑制されず、この残余リスクをいかに低減させるかが課題となっている。2型糖尿病や肥満患者では高TG血症と低HDL-C血症が高率に認められ、残余リスク低減のためには、これらに対する治療も考慮すべきである。

一方、糖尿病治療の根幹である血糖管理についても、血管保護を見据えた治療を行っていくべきである。心血管イベント抑制

には、糖尿病発症早期からの血糖管理が重要である。しかし、ACCORD Studyでは血糖強化療法を行った群で死亡が増加し、この要因として重症低血糖の関与が示唆されている。重症低血糖は大血管疾患及び細小血管障害との関連が明らかとなっており、血管保護の観点からも低血糖をきたさない治療を目指すべきである。また、近年では個々の患者中心の治療が提唱され、一様に血糖を厳格に管理するのではなく、患者の状態に応じた治療が求められるようになってきた。こうしたことから、従来の薬物治療を見直し、これまで使用されてきた低血糖のリスクのある薬剤から低血糖リスクの低い薬剤を中心とした新しい薬物治療を選択すべきであると考えられる。

インクレチン関連薬は血糖依存性の血糖降下作用を有するため、既存の薬剤に比べ低血糖を起こしにくい薬剤である。血糖依存性のインスリン分泌促進作用を有することから、インスリン分泌低下を主体とする日本人2型糖尿病に適すると考えられ、他剤にはないグルカゴン分泌抑制作用を有することからも、他剤併用療法を含めた新しい薬物治療のひとつとして用いられている。

近年、インクレチン関連薬の血管、動脈硬化、炎症、脂質などに対する作用が明らかとなっており、本セミナーでは最新の知見についてもご紹介したい。

## 本セミナーの予約について

本セミナーはチケット制(無料)です。セミナー会場にて本セミナーのチケットをお持ちの方から優先的に昼食(弁当)の配布と入場案内をさせていただきます。

本セミナーの予約は、①事前予約:第79回日本循環器学会学術集会ホームページからの事前参加登録(プレレジストレーション)の手続きによって、あるいは、②当日予約:学会会場における参加登録後にセミナー予約機によって、それぞれ予約可能となっております。いずれの場合も定数に達し次第予約終了となります。

なお、セミナーチケットは、セミナー開始5分後(12:55頃)には無効となりますのでご注意ください。

### ①事前予約

【方法】第79回日本循環器学会学術集会ホームページから事前参加登録(プレレジストレーション)を行った後、続けて同ホームページ内でセミナーの予約を行う。その後、学会会場の参加登録機で参加証と同時に事前予約したセミナーチケットを発券する。

【期間】1月27日(火)午後より予約開始、予約が定数に達し次第終了。

### ②当日予約

【方法】学会会場の参加登録機で登録を行った後、指定日時にセミナー予約機で残っているセミナーの中から希望のセミナーを予約し、セミナーチケットを発券する。

【日時】2015年4月25日(土) 7:00～12:20(本セミナー当日)

【セミナー予約機の設置場所】

①大阪国際会議場 5F ホワイエ ②リーガロイヤルホテル大阪 3F ロビー ③グランフロント大阪 北館 B2F ナレッジキャピタル コングレコベンションセンターポスター会場内(ホールB・C)